

授業科目 (ナンバリング)	薬局管理学 (NF411) (実践的教育科目)			担当教員	※作元 誠司 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	1.5	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
薬の専門家としての薬剤師に対して、社会の医療ニーズは高度化・複雑化している。本授業は薬局薬剤師として、このニーズに対応できる能力を修得することを目標とする。そのため、地域薬局の役割や地域における保健、医療、福祉の連携の重要性を理解し、地域医療に参画できるようになるために、薬局薬剤師業務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。							④⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	薬の専門家として、薬局薬剤師に対する高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識を学び、基礎的な科学的・研究能力を修得する。				定期試験	80%	
情報収集、分析力	高度化・複雑化する医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる能力を修得する。				小テスト	5%	
コミュニケーション力	薬の専門家として十分なコミュニケーション能力を修得する。				受講者の発表	5%	
協働・課題解決力	薬の専門家としてチーム医療に参画し、安全で適切な薬物療法に責任を持ち、個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる能力を修得する。				小テスト	5%	
多様性理解力	患者・生活者本位の視点、倫理観及び責任感を持って地域医療・保健に参画できる能力を修得する。				小テスト	5%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験は、択一式、〇×式、穴埋め式、記述式のいずれかの方法による筆記試験で行う。</li> <li>小テストは、適宜それまでの授業内容に関する課題について、講義終了後、レポート形式の筆記試験で行う(約20分間)。尚、小テストのフィードバックを授業で行う。</li> <li>「受講者の発表」については口頭発表を原則とする。</li> </ul>							
授業の概要							
薬局管理の実務経験を有する教員が、パワーポイントやプリント等の配布資料を用いて講義形式で行う。授業中に配布する資料は、パワーポイントの内容とその他必要な資料であるが、法令の改訂や医療情勢の変化に伴って、その時点での最新の情報を配布する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。							
教科書・参考書							
教科書：薬剤師業務の基本(上) 上村直樹 平井みどり (羊土社) 参考書：スタンダード薬学シリーズII 1「薬学総論」II、薬学と社会(東京化学同人) 指定図書：薬事法規・制度及び倫理 解説 薬事衛生研究会 薬事日報社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
○薬局薬剤師に対する地域社会のニーズは年々増加しており、内容も変化、高度化している。また法令等も頻繁に改訂がなされる。これに応えるために日頃からニュース等に関心を持ち情報の収集に務めること。 ○教科書, 参考書中心に予習をし、復習については授業内容を含めて行うこと。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標 番号*
1	薬剤師が果たすべき役割	薬局薬剤師の活動分野と社会における役割について	p 9～16 参考書確認	9
2	〃	薬局薬剤師業務について(1)	p 41～110 p 153～187 参考書確認	9
3	〃	薬局薬剤師業務について(2)	p 41～110 p 153～187 参考書確認	9
4	〃	薬剤師が守るべき倫理規範や法令について	p 17～24 p 111～137 参考書確認	71
5	地域における薬局の役割	災害時の薬局の役割と災害医療について	p 256～259 参考書確認	110 1058
6	〃	医療費の適正化に薬局が果たす役割	p 52～56 参考書確認	111
7	〃	セルフメディケーションにおける薬局の役割について	p 278～286 参考書確認	109
8	一般用医薬品 と セルフメディケーション	地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割	p 265～271 p 298～318 参考書確認	739
9	〃	一般用医薬品のリスクの程度に応じた分類とその代表的な製剤について	p 287～297 参考書確認	740
10	〃	一般用医薬品の選択、受診勧奨について	当日配布資料にて演習（発表）	742
11	地域における保健、 医療、福祉の連携	在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割	p 12～16 参考書確認	113
12	〃	地域の保健、医療、福祉における社会資源について 多職種との連携について	参考書確認 当日配布資料にて演習	115
13	地域保健への参画	地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動	p 260～264 p 272～277 参考書確認	1045
14	〃	公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策 その他の活動	p 186～192 p 207～ p 255	1046
15	まとめ	授業内容の重要点と質疑応答		
16	定期試験			

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

\* 到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。